

こなん水辺公園ニュース

2009年8月号(通算第2号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

ハスの花

6月の終わりごろから園内のハス田でハスの花が咲き始めました。7月になり新聞やテレビ等で紹介されると、たくさんの方がハスの花を見に公園を訪れるようになりました。カメラで写真を撮る人や、スケッチブックを広げスケッチする人などもありました。



きれいなハスの花をみなさん喜んでくれています。

ところで、花が散ったあとになっている実は、皮をむくとそのまま食べられるそうです。食べてみると甘い味がしておいしいのだとか。でも生ではあまり食べないほうが良いかもしれないということです・・・。

大浦小学校のボランティア活動が行われました

金沢市の「全市児童生徒ボランティアの日」である7月28日に、大浦小学校の児童80名と保護者20名により、こなん水辺公園の外来植物の除草活動が行われました。在来の植生を守るための取り組みです。水路のチクゴスズメノヒエと、通路脇のセイタカアワダチソウを手で抜き取ってくれました。作業後、通路や水路はとてもきれいになっていました。ありがとうございました。



河北潟ミニ植物園

ミニ植物園を作り始めたころに比べ、植物たちの姿も変わってきました。ヒツジグサは葉が大きくなり、トチカガミは

鉢からあふれそうなほど増えていました。フトイやミクリは花が咲き、実をつけています。



上の写真はミクリの実です。栗のような形なのでミクリという名がついたそうです。下はフトイです。



これらが順調に育った一方、キクモヤコバナヒルムシロなどは、あまり育たずに消滅してしまったり、消滅しそうになったりしています。育たなかったものは、なぜか管理学習棟の入り口前に置いてあるものばかりでした。順調に育ったものは建物の左に置かれたものばかりです。違いは何だったのでしょうか？

ミズアオイ

7月12日に水路に植えたミズアオイは、一部で花が咲き始めました。鉢に植えてあるほうも少しです花が咲いています。9月には青紫色の花がたくさんみられそうです。



ハクセキレイの親子

7月18日、管理学習棟の近くをハクセキレイの親子がとことこ歩いていました。親が見つけたエサをくわえて子供に近寄ると、子供は大きく口を開けてえさをねだっていました。写真の右が子供です。かわいかったです。



7月の生きもの情報 (管理学習棟エントランスホワイトボードから)

7月の生きもの情報

- オオヨシキリが管理学習棟近くのヨシ原にたくさんいました。今年生まれた子供もエサをとりに出てくるようになりました。
- バンヤカイツブリ、ハクセキレイが親子いっしょにいる姿が見られました。
- ササゴイ、チュウヒ、ミサゴ、カッコウ、アオサギ、カルガモ、オナガ、モズなどが見られました。
- トノサマガエルやアメリカザリガニがいました。



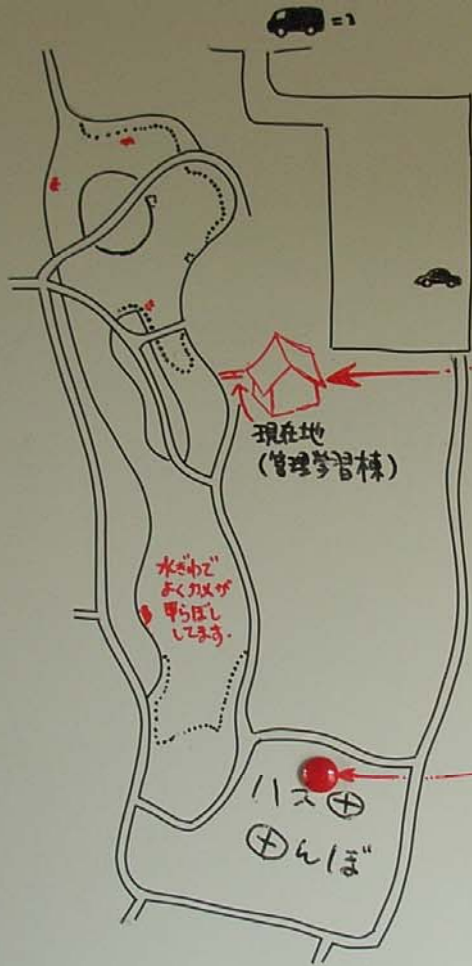
カイツブリの親子
(6月13日)



キジバト



ニワゼキショウ (2009年6月7日)



甲らぼしする アカミガメ (09.5.24)



羽を休ませ) オオヨシキリ
(2009.5.16. (土) <朝>)
10羽いました。
警戒心が強くて、すぐに飛び立ちますが、何匹も芝生広場に飛来しました!

ミニ植物園

河北潟周辺で絶滅が危惧されている植物が鉢植えされています。



←ミニ植物園にあるヒリジクの花です。お昼ごろ花が開きます。

ハスの花



オオヨシキリ

発行 2009年8月27日

制作 こなん水辺公園解説員グループ (NPO 法人河北潟湖沼研究所内)

連絡先 〒金沢市二口町ハ58 河北潟湖沼研究所 TEL.076-261-6951